

(注)厚生労働省の資料を参考に作成

(注)厚生労働省の資料を参考に作成(今後の見直しイメージを含む)

(注) 厚生労働省の資料から抜粋して作成

データを活用して介護の質を高める取り組みが進んでいる。国は介護施設などから高齢者の状態の情報提供を受けて全国平均のデータと比較することで、ケアの改善を促している。ただデータは一般公開されておらず、利用者が介護サービスを選ぶ参考にならない課題がある。

している民間サイトもある

「有料老人ホームに入居したら1カ月で車椅子から自分で立てなくなってしまった……」。一人暮らしの80代後半の伯母

ている民間サイトもあるが、費用や設備、食事や介護サービスの提供体制、スタッフの配置状況などにさまざま。

ある施設は菌や入れ菌が汚れている人の割合が全国平均より高かった。職員でデータを共有し、

をサポートしていた50代の甥（おい）は首をかしげる。入居後は週2回のリハビリを受けていたが「日中はずっと車椅子に座らされているからではないか」といぶかしむ。

ケアの状況を比較して介護の質向上を目指す国の事業は動き出している。「科学的介護情報システム（LIFEライフ）」だ。

実施しているケアプラ

口内のケアを優先的に取り組み、1年後に大きく改善した。担当者は「正しいケアをしていると信じていたが、比較して十分でない点に気づけた」と振り返る。

伯母は入居前まで自宅マンションで一人暮らしを続けていた。施設に入居したのは未明に不安を感じて救急車を呼んでしまったためだ。自宅では杖を使って移動していた。

ンや内容に加え、利用者の日常生活動作（ADL）に関するデータを国に提出すると、施設向けの専用サイトで自施設と全国の状態を比較できる。

ADLは平地の歩行や

厚生労働省によると、2024年4月時点で介護老人保健施設（老健）は8割が参加。特別養護老人ホームも7割を超えるなど施設系は高いが、訪問リハビリの事業所は

甥は「老化的せいなのか、介護の質が問題なのかを知りたい」と話す。

階段の昇降、椅子とベッド間の移乗のほか、食事、トイレの動作などを点数

2書にとどまる

国は21年度からライフ

に関連するデータを提出

介護施設や通所・訪問リハビリの事業所ごとに「どれだけ自立状態を保てるのか」などの介護の質は公開されていない。介護施設の情報公開し化して「自立」「一部介助」「全介助」などに分類する。例えば6カ月前と比べて高齢者の状態を維持・改善できた人の割合などで介護の質を評価すると介護報酬を加算している。施設などは収入が増えるが、「データを入力する職員の負担が大きい」などの理由で見送る施設が少なくない。

国のシステムより詳細に評価している施設もある。特別養護老人ホームなどを運営する永寿福祉会（大阪市）は世界30カ国以上で使われている評価システム「インターラ

「イ方式」を採用してケアプランを作成している。日常生活動作に加え、心理状態や健康状態などのほか、人間関係など高齢者を複数の専門職が関わって2〜3週間かけて276項目を入力し、提供するケアを検討。必要に応じて医師や看護師に相談して対応する。利用者のわずかな変化も早期に共有でき、介護の質向上につなげている。

グレイヤ高齢社会研究財団（東京・新宿）は同方式を採用している複数の施設・事業所のデータを収集し、リスク調整したうえでケアの効果を施設間などで比較できるようにしている。同財団の右橋智昭研究部長は「データの入力の負担は大きいが、介護の質を高めるためには不可欠」と指摘している。（前村聡）

ドイツはデータを第三者機関が審査して「移動や自立」など24項目について4段階で評価し、公表している。

米国は介護の質の低さが社会問題になり、1990年代から質評価に取り組んだ。政府機関のサイトでインターライ方式に近い項目で評価した結果を5つ星形式で一般向けに公表している。

高齢者は加齢に伴い、身体機能は次第に低下していくだけに介護の質評価は難しいが、各国は多くの項目で評価して比較できるようにし、質の向上と同時に利用者の施設選びにも役立てている。

新型コロナウイルス禍で広がったオンラインでの交流は、コミュニケーションのあり方を考える機会になった。私自身、オンライン講演会で一方的に話した後にも心も疲れ果てた体験から、言葉以外のコミュニケーションがもつ癒やし の力を認識した。コミュニケーションでは、表情や視線、姿勢など、言葉を通さない方が大きい役割を果たしているといわれているが、そのことを実感したのだ。



大動脈解離から心臓弁膜症

54歳の夏、大動脈解離発症したが、すぐに救われて一命を取り留めた。倒れたのが職場で、言うて同僚に助けを求め、海外出張中ではなく、周回しない深夜や早朝でもいた。会社の隣に東京医科歯院（東京・新宿）があれ、手術を受けられた。二の横目重ねがあった。緊急手術では心臓に、て上部に向かう上行大動脈が裂けた部分を人工血管で換えた。



心臓弁膜症ネットワーク

医療・介護・健康面
す。電子メール(iry)